



医療法人社団協友会 越谷誠和病院 広報誌

Sympathy

2026

9

Vol.37

胸やけ・胃の不快感から考える「逆流性食道炎」

食べ過ぎ・胸やけの症状

逆流性食道炎の症状

検査について

治療について

第2回 RKBサロン

講演会のお知らせ



◀ 読者アンケートにご協力ください

「食欲の秋、胸やけにご用心。」

胸やけ・胃の不快感から考える 「逆流性食道炎」

- 知っておきたい逆流性食道炎の症状・検査・治療 -

食後に胃がもたれる、みぞおちが張る、胸が焼けるように感じる――。
これらの症状、もしかすると「逆流性食道炎」かもしれません。



消化器内科
大浦 亮祐 医師

01 食べ過ぎ・胸やけの症状

食後に胃がもたれる、みぞおちが張る、胸が焼けるように感じるなどの症状は、多くの方が経験します。特に、脂っこい食事や食べ過ぎ、飲酒の後に起こりやすく、一時的な消化不良で改善することもあります。しかし、胸やけや胃の不快感が繰り返し続く場合は、逆流性食道炎や胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの病気が隠れていることもあります。

このような症状はありませんか？

- ☒ 食後に胃がもたれる
- ☒ みぞおちが張る
- ☒ 胸が焼けるように感じる
- ☒ 胃の不快感

03 検査について

症状や経過を詳しく伺ったうえで、必要に応じて上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を行います。内視鏡では、食道や胃、十二指腸を直接観察でき、逆流性食道炎の程度を評価するとともに、胃がんや食道がん、胃潰瘍など、他の病気がないかを確認できます。特に、体重減少、嚥下困難、貧血などを伴う場合には、早めの内視鏡検査が勧められます。必要に応じて、組織検査を追加することもあります。



早めの内視鏡検査が勧められる場合

- 体重減少
- 嚥下困難
- 貧血

02 逆流性食道炎の症状

逆流性食道炎は、胃酸や胃内容物が食道へ逆流し、食道の粘膜に炎症を起こす病気です。代表的な症状は、胸やけや酸っぱいものがこみ上げてくる「呑酸（どんさん）」ですが、のどの違和感、慢性的な咳、声のかすれ、胸の痛みなどとして現れることもあります。近年では、食生活の欧米化や肥満、高齢化などに伴い、患者さんが増えています。症状が長く続くと生活の質（QOL）の低下につながるため、適切な診断と治療が重要です。

04 治療について

治療の基本は、生活習慣の見直しと薬物療法です。食べ過ぎや脂肪分の多い食事、就寝前の食事を控え、適正体重を維持することが症状の改善につながります。薬物療法では、胃酸の分泌を抑えるプロトンポンプ阻害薬（PPI）やカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（P-CAB）が高い効果を示します。症状が改善しても再発しやすい病気のため、医師と相談しながら、適切な治療を継続することが大切です。

● 生活習慣

- ☒ 食べ過ぎない
- ☒ 脂肪分の多い食事を控える
- ☒ 就寝前の食事を控える
- ☒ 適正体重の維持

● 薬物療法

- ☒ 胃酸の分泌を抑える薬

胸やけや胃の不快感が続く場合は、早めに消化器内科へご相談ください。
当院では、患者さん一人ひとりの症状に合わせ、内視鏡検査を含めた適切な診断と治療を行っています。

RKB SALON REPORT

第2回 RKBサロンを 開催しました

地域の医療・介護をつなぐ、
顔の見える交流の場



地域の医療・介護連携をさらに深めることを目的に、第2回となる「RKBサロン」を当院で開催し、近隣の介護老人保健施設の職員の皆さまにご参加いただきました。多くの方にご参加いただき、終始和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。前回の振り返りでは、サロン開催後に感じた変化や、実際の連携の場面について共有し、継続的な交流の意義について改めて確認しました。

RKBサロンとは？

「地域包括ケアの一環として、医療と介護の情報共有をしやすいベースづくり」のため、開催している会です。
R:老健/K:越谷誠和/B:ブリッジ 「老健と越谷誠和の架け橋となる会」という意味が込められています。



ディスカッション

01 医療機関が考える新規相談を しやすい施設の特徴とは？

受け入れ調整を円滑に進めるためのポイントとして、男性のバルーンカテーテル交換対応、認知症、吸引対応などについて伺いました。施設側からは、「バルーンカテーテル交換が難しい方でなければ対応可能」「認知棟があるので精神科でフォローが必要なレベルでなければ受け入れ可能」「夜間の吸引にも対応可能」など、日頃の受け入れ体制や工夫、相談を受ける際に感じていることなどが紹介され、それぞれの視点を共有することができました。

ディスカッション

02 身寄りなしの方の支援について 共有しましょう

それぞれの対応を、実際の事例や課題を交えながら意見交換を行いました。後見人制度の利用や、お住まいの市区町村によって対応方法が異なることをお伝えしました。施設側からは、「保証人を2名以上としているため、身寄りのないケースは少なく、病院の対応を初めて知った」という意見もありました。支援に一つの正解があるわけではないからこそ、各施設の工夫や考え方を知ること、新たな気づきにつながる時間となりました。

つながりを深め、これからの連携へ

会場は終始和気あいあいとした雰囲気、時には真剣に意見を交わしながら、施設や職種の垣根を越えて自由に話し合える、サロンならではの交流が生まれました。「病院側の考えを知ることができた」「他施設の取り組みは、自施設でも取り入れられそう」といった声も聞かれ、参加者同士のつながりをさらに深める機会となりました。

＼ 病院見学も開催しています /



参加
無料



越谷誠和病院 公開講座

申込
不要

その咳・発熱 大丈夫？



COVID-19とRSウイルスを
知って、早めに備える

その他にも

骨密度測定・血管年齢測定
リハビリによる体操・健康相談・栄養相談

講師

「呼吸の予防とリハビリ体操」

理学療法士 宮崎 涼太

ミニコンサート

講演後に中川医師による

バイオリンコンサート

開催予定！



講師

内科部長

なかがわ あきら

中川 晃 医師

日時

2026年10月24日(土)

開場 14:00 開演 14:30~15:30

※ 14:00~14:30 / 15:30~16:00

(骨密度測定・血管年齢測定・相談を行います)

会場

越谷市北部市民会館

〒343-0033 越谷市恩間 181-1



交通アクセス

東武スカイツリーライン

大袋駅西口下車 徒歩約7分



経路案内

▶ 申し込み：当日会場へ直接お越しください (定員 220 名にて〆切とさせていただきます)

※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

▶ お問い合わせ：越谷誠和病院 (阿保・早船) TEL:048-966-2711



医療法人社団
協友会

越谷誠和病院

〒343-0856 埼玉県越谷市谷中町 4-25-5

TEL: 048-966-2711

<http://www.seiwa-amg.com>

Mail: info@seiwa-amg.com



病院HP